

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 研究部門評価委員会評価資料 (平成31/令和1年・令和2年)

目 次

研究所概要	(研究所長： 松原 洋一)	(01)
研究所業績	(副 所 長： 梅澤 明弘)	(01)
概要資料		
資料(1)	研究所組織図・人事異動	(03)
資料(2)	セミナー開催状況	(13)

【研究部活動報告】

0 1.	小児血液・腫瘍研究部	(部長： 清河 信敬)	001
0 2.	分子内分泌研究部	(部長： 深見 真紀)	023
0 3.	免疫アレルギー・感染研究部	(部長： 松本 健治)	055
0 4.	成育遺伝研究部	(部長： 小野寺 雅史)	095
0 5.	ゲノム医療研究部	(部長： 要 匡)	121
0 6.	システム発生・再生医学研究部	(部長： 高田 修治)	145
0 7.	薬剤治療研究部	(室長： 中村 和昭)	165
0 8.	周産期病態研究部	(部長： 秦 健一郎)	183
0 9.	社会医学研究部	(室長： 浦山ケビン)	211
1 0.	政策科学研究部	(室長： 竹原 健二)	249
1 1.	再生医療センター	(センター長：梅澤 明弘)	269
1 2.	エコチル調査研究部	(部長： 大矢 幸弘)	301
1 3.	実験動物管理室	(研究員： 津村 秀樹)	321
1 4.	移植免疫研究室 (RI管理室)	(室長： 梨井 康)	327
1 5.	マスキリング研究室	(室長： 但馬 剛)	341
1 6.	小児慢性特定疾病情報室	(室長： 盛一 享徳)	373
1 7.	高度先進医療研究室	(室長： 今留 謙一)	383
1 8.	視覚科学研究室	(室長： 東 範行)	405
1 9.	好酸球性消化管疾患研究室	(室長： 野村伊 知郎)	413

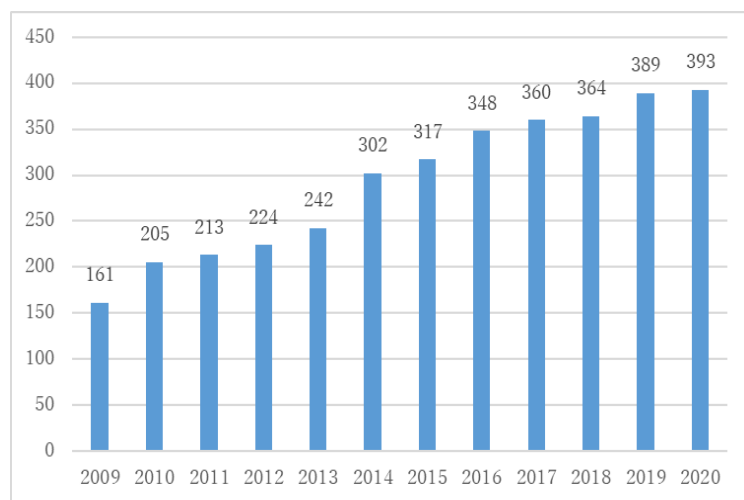
2019～2020 年 研究所概要

研究所長： 松原 洋一

1. 研究所ミッション

国立研究開発法人国立成育医療研究センターは、「受精・妊娠に始まって、胎児期、新生児期、小児期、思春期を経て次世代を育成する成人期へと至る、リプロダクションによってつながれたライフサイクルに生じる疾患(成育疾患)に対する研究と医療を推進する」ことを目的に、国立成育医療センターとして平成 14 年 3 月に設立された。その後、平成 22 年 4 月 1 日より独立行政法人国立成育医療研究センターとして発足し、平成 27 年度 4 月 1 日より、国立研究開発法人国立成育医療研究センターとして再発足した。しかし当センターの目的は組織形態が変わっても変わることはなく、この目的を達成するために、病院と研究所が密に連携して疾病に悩む方々や家族に対し、安全性と有効性を十分に検証しつつ高度先駆的医療の開発と提供を行ってきている。同時に小児救急医療、周産期医療を含めた成育医療全般に関して、チーム医療、包括的医療に配慮したモデルを確立し、これらを全国的に展開してきた。この中で研究所は成育医療に関連する疾患の原因の解明と治療法の開発、さらには早期発見・予防法の開発を目標に研究を進めていく。具体的には受精に始まる発生、分化の過程、身体及び臓器の発育と発達、精神及び社会性の発達等の機序を解明し、これらの過程の異常から生じる不妊、不育、先天異常、成長・発達障害等の問題を研究面から解決していくことを使命と考えている。

2. 研究業績

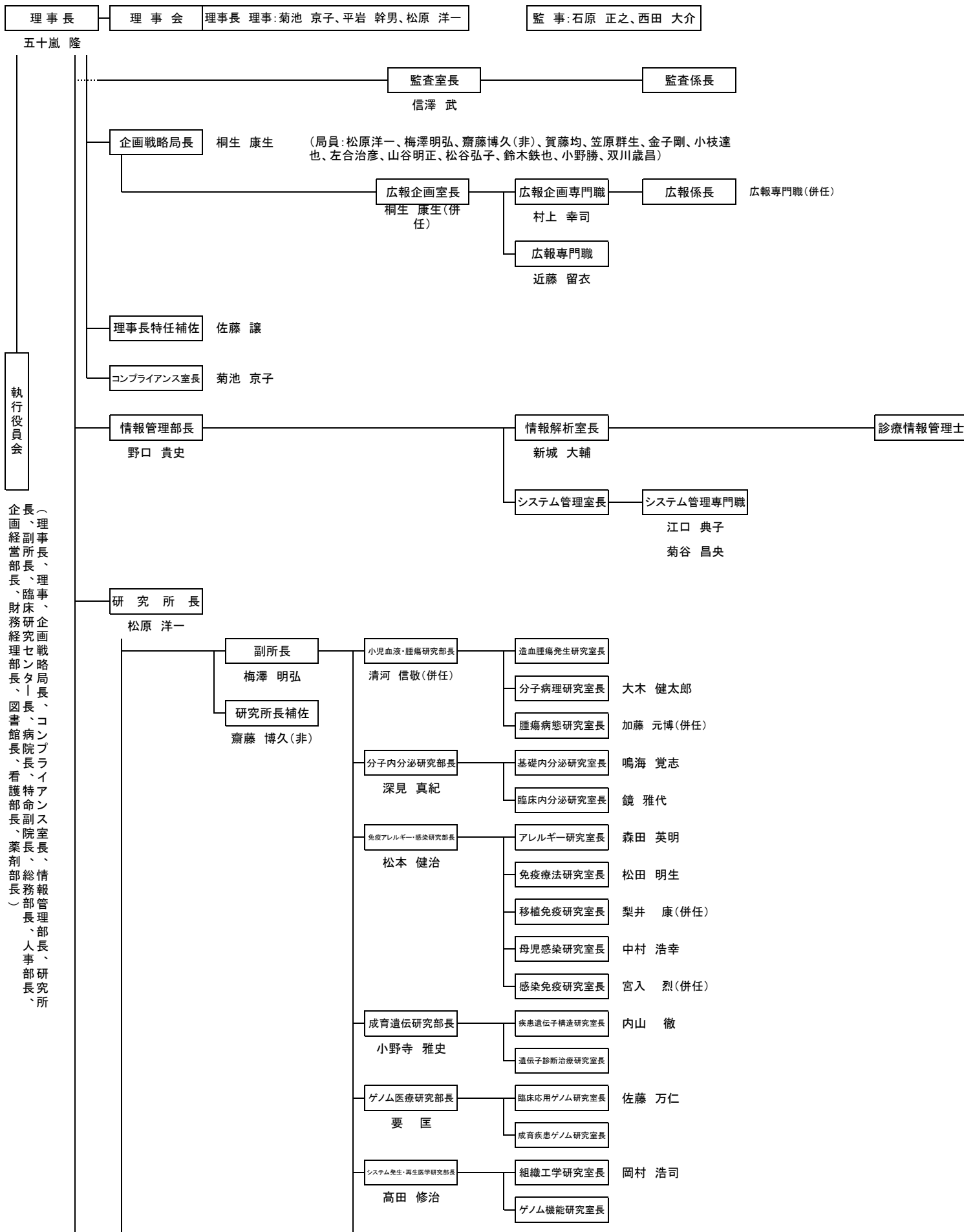


左図は、厚生労働省で実施されている独立行政法人通則法(平成 11 年法律第 103 号)第 35 条の 8 の規定に基づき準用する第 31 条第 1 項の規定に基づく国立研究開発法人国立成育医療研究センターの年度計画の評価委員会において使用が義務づけられている Web of Science データベースをもちいて、2009 年より 2020 年までの英文業績数(学会抄録と訂正文を除く)の推移をグラフ化したものである。

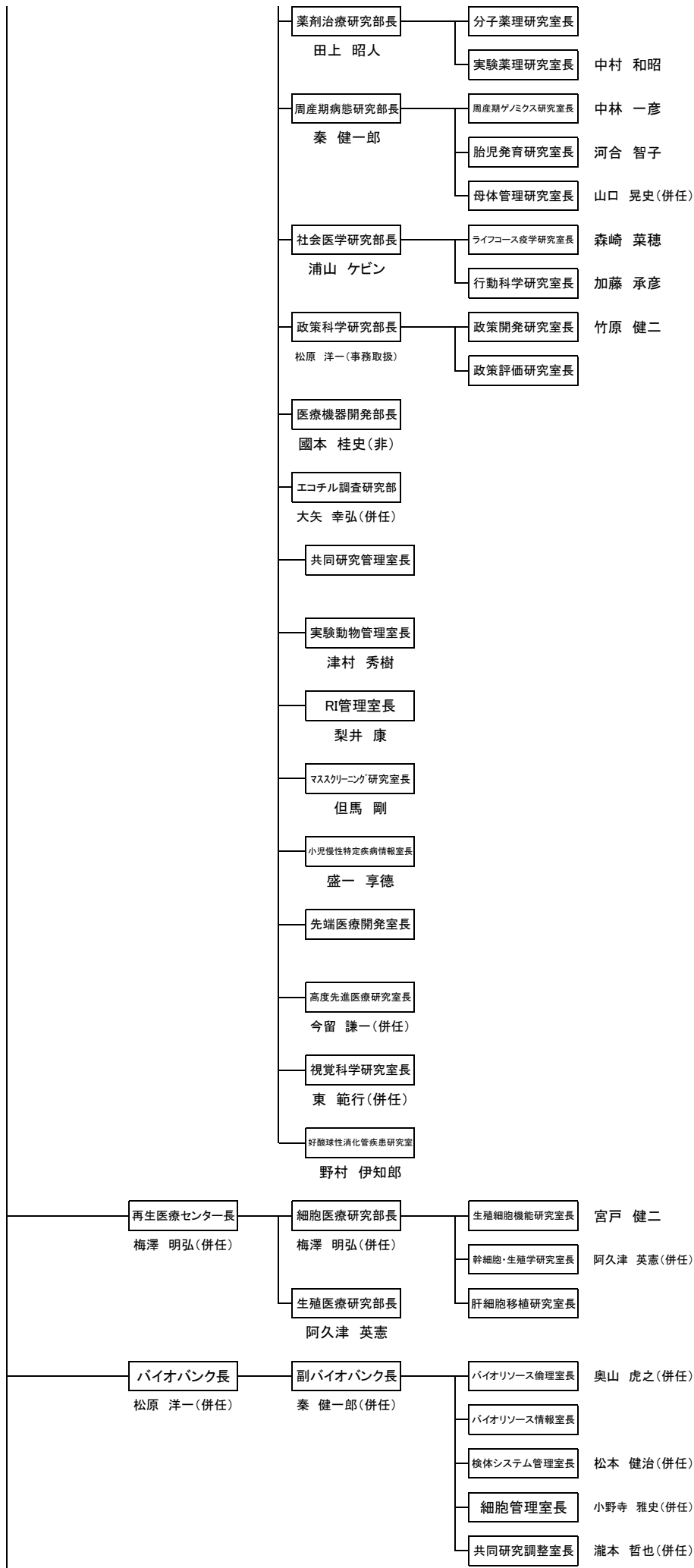
2009 年の 161 本から 205 本、213 本、224 本、242 本、302 本、317 本、348 本、360 本、364 本、389 本、393 本と論文発表数が独法化以来 10 年で 2 倍以上となった。なお、研究所と病院の共同研究成果が大半を占めるようになっていることもあり、研究所単独の論文数として切り分けて検索することはできない。しかし、被引用回数上位の論文のほとんどは研究所所属著者によるものであった。

【組織図・人事異動】

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター組織図



企 画 経 営 部 長、 図 書 館 長、 看 護 部 長、 薬 劑 部 長、 総 務 部 長、 情 報 管 理 部 長、 人 事 部 長、 研 究 所 長、 企 画 戦 略 局 長、 理 事 長 特 任 補 佐、 理 事、 臨 事、 財 務 研 究 セ ン タ ー 長、 企 画 経 理 部 長、 図 書 館 長、 病 院 長、 コ ン プ ラ イ ア ン ス 室 長、 特 命 副 部 長、 院 長、 研 究 所 長、 監 査 室 長、 監 査 係 長、 広 報 企 画 室 長、 広 報 企 画 専 門 職、 広 報 係 長、 情 報 管 理 部 長、 情 報 解 析 室 長、 シ ス テ ム 管 理 室 長、 シ ス テ ム 管 理 専 門 職、 診 療 情 報 管 理 士



衛生検査センター長

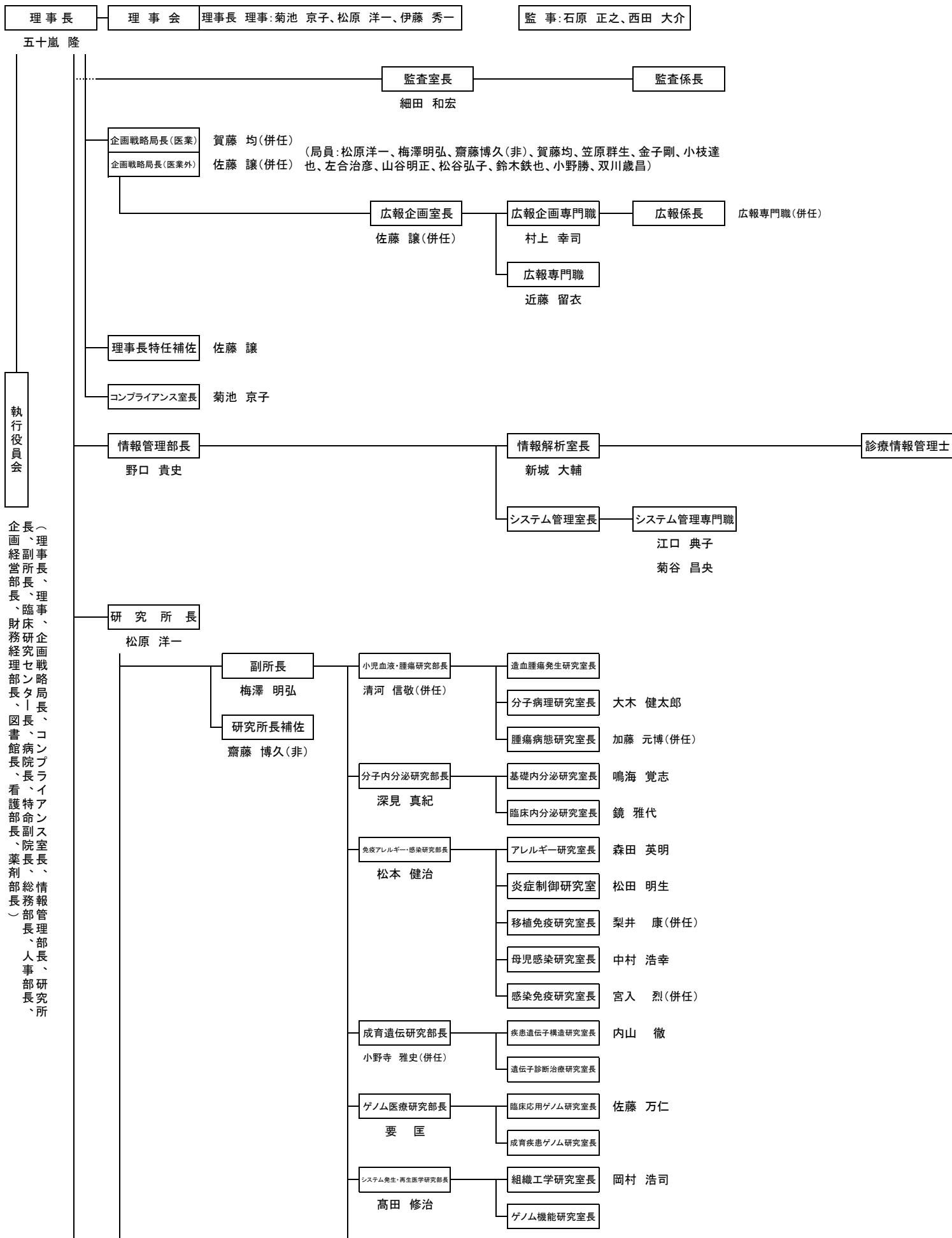
清河 信敬

精度管理責任者

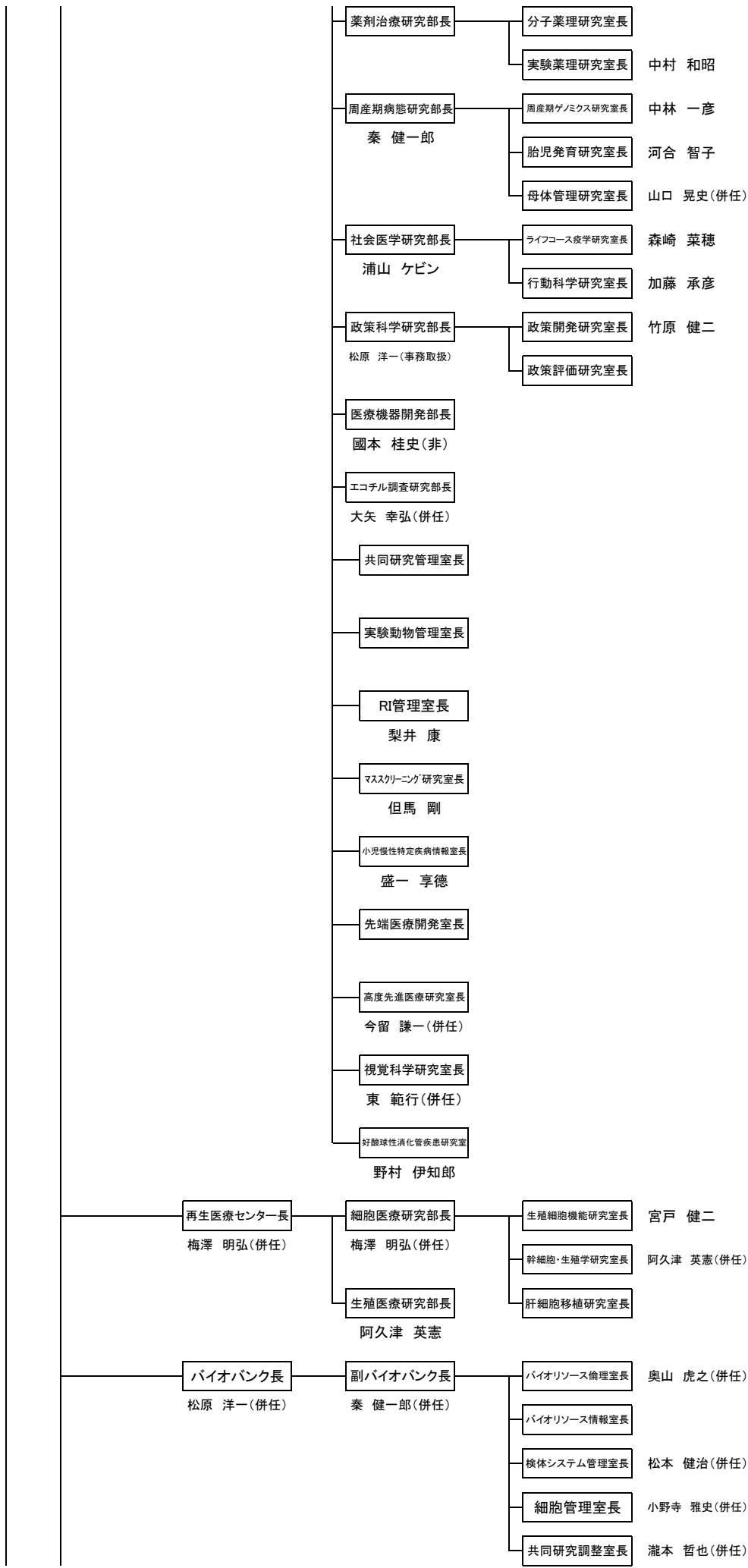
精度管理責任者
松本 健治

精度管理責任者
(遺伝子・染色体
検査)
清河 信敬(併
任)

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター組織図



執行役員会
 企長（理事長、副理事長、理事、企画戦略局長、コンプライアンス室長、情報管理部長、人事部長、研究所長、経営部長、臨床研究センター長、図書館長、看護部長、薬剤部長、総務部長、情報管理部長、システム発生・再生医学研究部長、母児感染研究室長、移植免疫研究室長、炎症制御研究室、アレルギー研究室長、感染免疫研究室長、母児感染研究室長、中村 浩幸、移植免疫研究室長、梨井 康(併任)、松田 明生、森田 英明、アレルギー研究室長、鳴海 寛志、基礎内分分泌研究室長、鏡 雅代、臨床内分分泌研究室長、大木 健太郎、腫瘍病態研究室長、加藤 元博(併任)、造血腫瘍発生研究室長、分子病理研究室長、小野寺 雅史(併任)、疾患遺伝子構造研究室長、内山 徹、遺伝子診断治療研究室長、要 匡、臨床応用ゲノム研究室長、佐藤 万仁、成育疾患ゲノム研究室長、高田 修治、組織工学研究室長、岡村 浩司、ゲノム機能研究室長、斎藤 博久(非)、梅澤 明弘、副所長、松原 洋一、研究所長、野口 貴史、情報管理部長、江口 典子、菊谷 昌央、システム管理室長、新城 大輔、情報解析室長、診療情報管理士、菊池 京子、コンプライアンス室長、佐藤 讓、理事長特任補佐、近藤 留衣、広報専門職、村上 幸司、広報企画専門職、佐藤 讓 (併任)、広報企画室長、賀藤 均 (併任)、佐藤 讓 (併任)、企画戦略局長 (医業外)、賀藤 均 (併任)、企画戦略局長 (医業)、伊藤 秀一、松原 洋一、石原 正之、西田 大介、監事、五十嵐 隆、理事長



衛生検査センター長

清河 信敬

精度管理責任者

精度管理責任者
松本 健治

精度管理責任者
(遺伝子・染色体
検査)
清河 信敬(併
任)

人事異動（平成31年/令和元年・令和2年）

○常勤職員

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
H31. 4. 1	採用	医師研究員	苛原 誠	エコチル調査研究部
H31. 4. 1	職務命令	免疫アレルギー研究部長	松本 健治	職務命令：精度管理責任者
H31. 4. 1	職務命令	小児血液・腫瘍研究部長	清河 信敬	職務命令：精度管理責任者
H31. 4. 1	配置換	小児血液・腫瘍研究部長	清河 信敬	小児血液・腫瘍研究部長 → 衛生検査センター長
H31. 4. 1	併任	一般職員	小川 貴紀	併任：衛生検査センター
H31. 4. 1	併任	一般職員	西澤 樹生	併任：衛生検査センター
H31. 4. 1	併任	研究推進係長	今井 雅樹	併任：衛生検査センター
H31. 4. 1	併任	小児血液・腫瘍研究部 分子病理研究室長	大木 健太郎	併任：衛生検査センター
H31. 4. 1	併任	小児がん免疫診断科診療部長	出口 隆生	併任：衛生検査センター
H31. 4. 1	併任	小児血液・腫瘍研究部長	清河 信敬	併任：小児血液・腫瘍研究部長
R2. 2. 1	任期更新	行動科学研究室長	加藤 承彦	社会医学研究部行動科学研究室
R2. 3. 31	採用	研究員	神崎 誠一	研究所
R2. 3. 31	採用	研究員	天ヶ瀬 凜	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 3. 31	採用	研究員	中村 直子	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 3. 31	定年退職	実験動物管理室長	津村 秀樹	実験動物管理室
R2. 3. 31	定年退職	薬剤治療研究部長	田上 昭人	薬剤治療研究部
R2. 3. 31	転出	研究員	神崎 誠一	研究所
R2. 3. 31	転出	研究員	天ヶ瀬 凜	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 3. 31	転出	研究員	中村 直子	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 3. 31	任期満了	実験薬理研究室長	中村 和昭	薬剤治療研究部実験薬理研究室
R2. 4. 1	採用	医師研究員	佐藤 未織	エコチル調査研究部
R2. 4. 1	採用	実験薬理研究室長	中村 和昭	薬剤治療研究部実験薬理研究室
R2. 4. 1	配置換	成育遺伝研究部長	小野寺 雅史	小児血液・腫瘍研究部長 → 遺伝子細胞治療推進センター長
R2. 9. 30	辞職	医師研究員	苛原 誠	エコチル調査研究部
R2. 10. 1	配置換	免疫療法研究室長	松田 明生	免疫療法研究室長 → 炎症制御研究室長
R2. 11. 1	併任	周産期病態研究部長	秦 健一郎	併任：アレルギーセンター遺伝情報評価支援室長

人事異動（平成31年/令和元年・令和2年）

○非常勤職員

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
H31. 4. 1	採用	研究員	田中 啓介	周産期病態研究部
H31. 4. 1	併任	研究員	渡部 悟	併任：衛生検査センター
H31. 4. 1	育休復帰	研究員	川崎 麻紀	政策科学研究部
H31. 4. 16	採用	研究員	折茂 圭介	免疫アレルギー・感染研究部
H31. 4. 16	採用	研究員	Caroline Kaori Tomo	政策科学研究部
H31. 4. 16	採用	研究員	太田 知子	内分泌・代謝科
H31. 4. 30	辞職	研究員	原 聡史	システム発生・再生医学研究部
R1. 6. 1	採用	研究員	矢竹 暖子	政策科学研究部
R1. 7. 1	採用	研究員	進導 美幸	実験動物管理室
R1. 8. 1	採用	研究員	櫻木 小百合	免疫アレルギー・感染研究部 母児感染研究室
R1. 9. 30	辞職	研究員	田中 啓介	周産期病態研究部
R1. 10. 16	採用	研究員	伊東 紀子	周産期病態研究部
R1. 10. 16	採用	研究員	小林 しのぶ	社会医学研究部
R1. 10. 31	辞職	研究員	栗山 幹浩	再生医療センター細胞医療研究部
R1. 11. 1	採用	研究員	栗山 幹浩	免疫アレルギー・感染研究部
R1. 11. 7	育休延長	研究員	小西 瑞穂	研究所
R1. 12. 1	採用	研究員	中西 梨奈	生殖医療研究部
R1. 12. 16	採用	研究員	磯 まなみ	薬剤治療研究部
R1. 12. 27	辞職	研究員	小島 一晃	周産期病態研究部
R1. 12. 31	辞職	研究員	Aurelie Piedvache	社会医学研究部
R1. 12. 31	辞職	研究員	富川 順子	周産期病態研究部
R2. 1. 1	採用	研究員	田中 理恵子	薬剤治療研究部
R2. 1. 1	採用	研究員	Aurelie Piedvache	社会医学研究部
R2. 1. 31	辞職	研究員	川崎 麻紀	政策科学研究部
R2. 2. 1	採用	研究員	川崎 麻紀	政策科学研究部
R2. 2. 1	採用	研究員	服部 淳	分子内分泌研究部
R2. 3. 15	育児休業	研究員	辻 敦美	システム発生・再生医学研究部
R2. 3. 30	辞職	研究員	天ヶ瀬 凜	再生医療センター
R2. 3. 31	任期満了	研究員	辻 敦美	システム発生・再生医学研究部
R2. 3. 31	任期満了	研究員	高橋 聡子	小児がんセンター小児がんデータ管理科
R2. 3. 31	任期満了	上級研究員	宮本 義孝	細胞医療研究部
R2. 3. 31	任期満了	研究員	絵野沢 伸	先端医療開発室
R2. 3. 31	任期満了	研究員	CAROLINE KAORI TOMO	政策科学研究部
R2. 3. 31	任期満了	研究員	五十嵐 ありさ	免疫アレルギー・感染研究部
R2. 3. 31	任期満了	研究員	川野 布由子	高度先進医療研究室

人事異動（平成31年/令和元年・令和2年）

○非常勤職員

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
R2. 3. 31	任期満了	特任研究員	藤原 成悦	免疫アレルギー・感染研究部母児感染研究室
R2. 3. 31	任期満了	研究員	井上 紀彦	情報管理部情報解析室
R2. 3. 31	任期満了	研究員	中島 英規	マスキング研究室
R2. 3. 31	任期満了	研究員	田山 千春	周産期病態研究部
R2. 3. 31	任期満了	上級研究員	宮戸 真美	分子内分泌研究部
R2. 3. 31	任期満了	研究員	町田 正和	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 3. 31	任期満了	研究員	伊藤 愛主	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 4. 1	採用	研究員	辻 敦美	システム発生・再生医学研究部
R2. 4. 1	採用	研究員	青木 藍	政策科学研究部
R2. 4. 1	採用	上級研究員	宮戸 真美	分子内分泌研究部
R2. 4. 1	採用	研究員	津村 秀樹	実験動物管理室
R2. 4. 1	採用	研究員	町田 正和	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 4. 1	採用	研究員	伊藤 愛主	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 4. 1	採用	研究員	BALOGUN OLUKUNMI OMOBOLANLE	政策科学研究部
R2. 4. 1	採用	研究員	中島 英規	マスキング研究室
R2. 4. 1	採用	研究員	田山 千春	周産期病態研究部
R2. 4. 1	育児休業	研究員	辻 敦美	システム発生・再生医学研究部
R2. 4. 1	育児休業	研究員	小西 瑞穂	研究所
R2. 4. 1	採用	研究員	五十嵐 ありさ	ゲノム医療研究部
R2. 5. 2	育休復帰	研究員	辻 敦美	システム発生・再生医学研究部
R2. 5. 7	育休復帰	研究員	小西 瑞穂	研究所
R2. 5. 16	採用	研究員	宮本 義孝	再生医療センター細胞医療研究部生殖細胞機能研究室
R2. 6. 30	辞職	研究員	関 偉涛	RI管理室/免疫アレルギー・感染研究部移植免疫研究室
R2. 7. 1	採用	研究員	胡 鑫	免疫アレルギー・感染研究部移植免疫研究室
R2. 7. 6	育児休業	研究員	高井 千夏	周産期・母性診療センター母性内科
R2. 8. 16	採用	研究員	田村 健一	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 9. 1	採用	研究員	赤平 莉菜	細胞医療研究部
R2. 9. 1	育休復帰	研究員	高井 千夏	周産期・母性診療センター母性内科
R2. 9. 16	採用	研究員	岡坂 昌子	社会医学研究部
R2. 9. 30	辞職	研究員	栗山 幹浩	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 10. 1	採用	研究員	大塚 美耶子	政策科学研究部
R2. 10. 1	採用	研究員	栗山 幹浩	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 10. 31	辞職	研究員	伊藤 愛主	再生医療センター細胞医療研究部
R2. 11. 1	採用	研究員	伊藤 愛主	再生医療センター細胞医療研究部

【セミナー開催状況・
その他】

セミナー開催状況(2019-2020年)

<定例セミナー>

1. 日時:平成31年1月10日(水)

演者: 梨井 康 (RI管理室/移植免疫研究室 室長)

演題: 移植後免疫寛容の誘導・維持のための樹状細胞(DC)制御法の開発

2. 日時:平成31年1月17日(木)

演者1: 佐藤 万仁 (ゲノム医療研究部 室長)

演題1: 希少・未診断疾患を対象とした大規模全エクソーム解析における次世代シーケンサーの評価

演者2: 要 匡 (ゲノム医療研究部 部長)

演題2: 未診断疾患へのアプローチ

3. 日時:平成31年1月22日(火)

演者: 但馬 剛 (マスキリーニング研究室 室長)

演題: カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ-2欠損症の新生児マスキリーニング
: 全国実施実現の経緯と今後の課題

4. 日時:平成31年1月22日(金)

演者1: 小島 一晃 (周産期病態研究部 研究員)

演題1: PDMS (polydimethyl siloxane)を用いたin vitro精子形成法の開発

演者2: 高橋 健 (周産期病態研究部 研究員)

演題2: 大量塩基配列情報を用いた母体血中遊離核酸による胎児の疾患関連遺伝子変異の同定と臨床応用
RhD不適合妊娠をモデルとして

5. 日時:令和元年5月31日(金)

演者1: 牛嶋 規久美 (分子内分泌研究部 研究員)

演題1: 46, XX卵精巣性分化疾患患児で同定した新規SOX9変異における機能解析

演者2: 鈴木 江莉奈 (分子内分泌研究部 研究員)

演題2: Gタンパク共役型受容体の機能亢進を招く新たなメカニズムの解明

演者3: 服部 淳 (分子内分泌研究部 研究員)

演題3: 生殖細胞系列における多彩な多焦点性複雑ゲノム再編成の同定

6. 日時:令和元年6月20日(水)

演者1: 杉江 真以子 (免疫アレルギー・感染研究部 研究員)

演題1: IL-33はヒトマスト細胞に機能を持ったCCR7の発現を誘導する

演者2: 中村 浩幸 (免疫アレルギー・感染研究部 室長)

演題2: 先天性ウイルス感染症の克服に向けた最近の取り組みについて

7. 日時:令和元年7月23日(火)

演者: 宮本 幸 (薬剤治療研究部 研究員)

演 題: 小児急性リンパ球性白血病発症に関連する遺伝学的素因と環境要因について

8. 日 時: 令和元年 7 月 31 日 (水)

演 者: 浦山 ケビン (社会医学研究部 部長)

演 題: 『Maternal pregnancy, postnatal factors, and immune development in the risk of childhood acute lymphoblastic leukemia
／小児急性リンパ芽球性白血病のリスクにおける母体妊娠、出生後因子、免疫発達』

9. 日 時: 令和元年 8 月 22 日 (木)

演者 1: 大木 健太郎 (小児血液・腫瘍研究部 室長)

演題 1: 小児白血病の発症や予後に関わる融合遺伝子の検出・診断法の開発

演者 2: 加藤 元博 (小児血液・腫瘍研究部 室長 (併任))

演題 2: 小児がんの非侵襲的ゲノム診断法“liquid biopsy”

10. 日 時: 令和元年 9 月 12 日 (木)

演者 1: 安田 徹 (成育遺伝研究部 研究員)

演題 1: ニーマンピック病 C 型における免疫系による神経変性制御

演者 2: 三浦 茜 (成育遺伝研究部 研究員)

演題 2: 原発性免疫不全症に対するゲノム編集による遺伝子治療

11. 日 時: 令和元年 9 月 27 日 (金)

演者 1: 岡村 浩司 (システム発生・再生医学研究部 室長)

演題 1: 深層学習でデータを分ける~分けられないものがあまりないような気がしないでもないように
思わなくもないかもしれない

演者 2: 土屋 育 (システム発生・再生医学研究部 研究員)

演題 2: ゲノム編集で多様なアレルをつくる~作れないものがあまりないような気がしないでもないように
思わなくもないかもしれない

12. 日 時: 令和元年 10 月 10 日 (木)

演者 1: 中村 彰浩 (再生医療センター 共同研究員)

演題 1: 繊毛運動調節分子カラクシンの欠損は脊椎動物の内臓逆位を引き起こす

演者 2: 康 宇鎮 (再生医療センター 共同研究員)

演題 2: 毛色によって男性の生殖能は判別できるのか?

13. 日 時: 令和元年 10 月 24 日 (木)

演 者: 富川順子 (周産期病態研究部 研究員)

演 題: 核内ゲノム高次構造による発生制御

15. 日 時: 令和元年 12 月 3 日 (火)

演者 1: 山本 依志子 (政策科学研究部 研究員)

演題 1: 人口動態調査を用いた妊娠中・産後 1 年未満の女性の死亡の現況

演者 2: 竹原 健二 (政策科学研究部 室長)

演題 2: モンゴルにおける運動が学力および心身の健康に与える効果に関するクラスター無作為化比較試験

16. 日 時: 令和元年 12 月 4 日 (水)

演 者: 今留 謙一 (高度先進医療研究室 室長)

演 題: 新規抗ウイルス薬の開発と治験に向けた非臨床 POC 取得

17. 日 時: 令和元年 12 月 12 日 (木)

演者 1: 浦山 ケビン (社会医学研究部 部長)

演題 1: 胎児期～乳幼児期の環境因子や免疫系の発達が小児急性リンパ性白血病の発症に及ぼす影響

Maternal pregnancy, postnatal factors, and immune development in the risk of childhood acute lymphoblastic leukemia

演者 2: 加藤 承彦 (社会医学研究部 室長)

演題 2: 不妊治療にのぞむ女性のメンタルヘルスと QOL

18. 日 時: 令和 2 年 1 月 9 日 (木)

演者 1: 目澤 秀俊 (エコチル調査研究部 行動発達系計測研究プロジェクトチーム チームリーダー)

演題 1: 「母親の抑うつに関わる防御因子の検討」

演者 2: 山本 貴和子 (エコチル調査研究部 生体防御系計測研究プロジェクトチーム チームリーダー)

演題 2: 「ワクチンとアレルギー疾患」

19. 日 時: 令和 30 年 7 月 5 日 (水)

演 者: 中村 和昭 (薬剤治療研究部)

演 題: バソプレシン V1 受容体欠損マウスによるバソプレシン作用へのアプローチ

20. 日 時: 令和 2 年 1 月 16 日 (木)

演者 1: 柳 久美子 (ゲノム医療研究部 研究員)

演題 1: 原因不明の疾患に対する遺伝学的解析法を用いた遺伝子候補バリエーション絞り込み解析

演者 2: 佐藤 万仁 (ゲノム医療研究部 室長)

演題 2: 希少・未診断疾患を対象とした大規模全エクソーム解析の俯瞰的分析

21. 日 時: 令和 2 年 9 月 3 日 (木)

演者 1: 岡村 浩司 (システム発生・再生医学研究部 室長)

演題 1: ディープラーニングによる AI 構築のための顔画像データ収集

演者 2: 小川 湧也 (共同研究員、日本学術振興会特別研究員 DC2、東京医科歯科大学博士後期課程 3 年)

演題 2: SNPs を利用したゲノム編集による疾患候補領域重複マウスの作製

22. 日 時: 令和 2 年 9 月 9 日 (水)

演者 1: 原 香織/鏡雅代 (分子内分泌研究部 研究員/室長)

演題 1: 「30 歳以上の女性における生殖補助医療は、エピ変異によるインプリンティング疾患発症のリスク因子と成り得る」

演者 2: 宮戸 真美 (分子内分泌研究部 上級研究員)

演題 2: 「新たな遺伝性腎疾患の発見」

演者 3: 鳴海 覚志 (分子内分泌研究部 室長)

演題 3: 「日本人女性の 600 万月経周期のビッグデータ解析」

23. 日 時:令和 30 年 9 月 28 日(金) Teams オンライン同時開催

演者 1: 阿久津 英憲 (再生医療センター 部長)

演題 1: 「腸管オルガノイド・ミニ腸の創生と成育医療研究への応用」

演者 2: 菅原 亨 (再生医療センター 研究員)

演題 2: 「Hsa-miR-302 はヒト多能性幹細胞に必須である」

24. 日 時:令和 2 年 10 月 1 日(木)

演者 1: 須藤 茉衣子 (政策科学研究部 研究員)

演題 1: 「NDB レセプトデータを用いた、小児期の受療状況に関する分析」

演者 2:

演題 2: 「実装科学 (Implementation science) の紹介

～Evidence practice gap を埋め、社会実装につなげるための研究方法～」

25. 日 時:令和 2 年 10 月 7 日(水)

演者 1: 折茂 圭介 (免疫アレルギー・感染研究部 研究員)

演題 1: 「洗剤は喘息様気道炎症を惹起する」

演者 2: 原 真理子 (免疫アレルギー・感染研究部 研究員)

演題 2: 「扁桃のトランスクリプトーム解析によって、PFAPA 症候群は 2 つのエンドタイプと分子経路を持つことが明らかになった」

26. 日 時:令和 2 年 10 月 22 日(木)

演者 1: 清水 稀恵 (薬剤治療研究部 研究員)

演題 1: 「マウスの母親選好性に関わる脳内領域の検討」

演者 2: 田中 理恵子 (薬剤治療研究部 研究員)

演題 2: 「ヒト肝細胞を使用した安定的薬剤評価系の確立」

27. 日 時:令和 2 年 11 月 5 日(木) Teams によるオンライン同時開催

演者 1: 茂木 成美 (社会医学研究部 研究員)

演題 1: 「超高齢社会と向き合うダウンスケジュールをめぐり医療と福祉」

演者 2: 半谷 まゆみ (社会医学研究部 研究員)

演題 2: 「コロナ禍におけるこどもたちの生活と健康を知る、そして変えたい！
～コロナ×こどもアンケート～」

28. 日 時:令和 2 年 11 月 12 日(木) Teams によるオンライン同時開催

演者 1: 但馬 剛 (マスキング研究室 室長)

演題 1: 拡大する新生児マスキング：CPT2 欠損症追加後の知見/新規候補疾患の現状と課題

演者 2: 中島 英規 (マスキング研究室 研究員)

演題 2: 胆道閉鎖症のマスキング

29. 日 時:令和2年11月18日(水) Teamsによるオンライン同時開催
演者1: 内山 徹 (成育遺伝研究部 室長)
演題1: 原発性免疫不全症に対する遺伝子治療の今後の戦略
演者2: 三浦 茜 (成育遺伝研究部 研究員)
演題2: X連鎖高IgM症候群のT細胞に対するCD40LG遺伝子変異の標的遺伝子修復治療
30. 日 時:令和2年12月1日(火) Teamsによるオンライン同時開催
演者1: 佐藤 万仁 (ゲノム医療研究部 室長)
演題1: 遺伝性全身性ジストニア *KMT2B* 遺伝子新規新生変異の *in silico* 的評価
演者2: 柳 久美子 (ゲノム医療研究部 研究員)
演題2: Low-level variant の検出と臨床応用
31. 日 時:令和2年月日(木) Teamsによるオンライン同時開催
演者1: 渡部 悟 (小児血液・腫瘍研究部 研究員)
演題1: 小児急性白血病における新しい診断アルゴリズムの開発と研究
演者2: 吉田 仁典 (小児血液・腫瘍研究部 共同研究員)
演題2: 小児の二次がんにおける遺伝的素因
32. 日 時:令和3年1月13日(水) Teamsによるオンライン開催
演 者: 進導 美幸 (実験動物管理室 研究員)
演 題: パラログを持たず種特異的インプリンティングを受ける機能未知遺伝子 *Impact* の機能解析
33. 日 時:令和2年1月18日(木) Teamsによるオンライン開催
演者1: 岡崎 有香 (周産期病態研究部 研究員)
演題1: ステロイドの羊膜脆弱化作用に関する検討
ステロイドは羊膜の透過性を亢進し前期破水のリスクを上昇する?
演者2: 伊東 紀子 (周産期病態研究部 研究員)
演題2: 母体血中の胎児有核赤血球細胞を標的とした出生前遺伝学的検査法の開発
34. 日 時:令和2年1月20日(水) Teamsによるオンライン開催
演者1: 西里 美菜保 (エコチル調査研究部 研究員)
演題1: エコチル調査における子ども(2歳時点)の発達の状況について
演者2: 目澤 秀俊 (エコチル調査研究部 チームリーダー)
演題2: 環境暴露による疾病負担の算定 ～エコチル調査結果の政策への応用に向けて～
35. 日 時:令和2年1月21日(木) Teamsによるオンライン開催
演 者: 野村 伊知郎 (好酸球性消化管疾患研究室 室長、アレルギーセンター 併任医師)
演 題: 消化管アレルギー、好酸球性消化管疾患の新知見

<特別セミナー>

1. 日 時:令和元年3月11日(月)
演 者: 井ノ上 逸朗 先生
国立遺伝学研究所・教授
演 題: 「次世代シーケンサーが拓く疾患パラダイム」
紹介者: 秦 健一郎 (周産期病態研究部部長)

2. 日 時:令和元年4月4日(木)
演 者: 吉井 聡 先生 (よしい あきら)
イリノイ大学シカゴ校医学部解剖および細胞生物学部門、小児科、神経内科 准教授
演 題: 神経発達疾患におけるシナプス形成の異常
紹介者: 梅澤 明弘 (再生医療センター長)

3. 日 時:令和元年4月5日(金)
演 者: 掛江 直子 先生 (生命倫理研究室)
演 題: 再生医療の倫理的・法的枠組みについてー再生医療法施行規則の改正を踏まえてー
紹介者: 梅澤 明弘 (再生医療センター長)

4. 日 時:令和元年6月3日(月)
演 者: 金子雅幸 先生
広島大学大学院医系科学研究科 医学分野分子細胞情報学
演 題: 膜貫通型ユビキチンリガーゼの同定と生理機能の解析
紹介者: 高田 修治 (システム発生・再生医学研究部部長)

5. 日 時:令和元年12月2日(月)
演 者: Michael D. Wilson, Ph.D.
Senior Scientist, Genetics & Genome Biology Program, Research Institute,
The Hospital for Sick Children
Associate Professor, Department of Molecular Genetics, University of Toronto
演 題: From mammals to fish and back again: using comparative genomics to discover
cardiovascular regulatory elements
(比較ゲノミクスによる心血管関連遺伝子発現制御ゲノム領域の網羅的解明)
紹介者: 中林 一彦 (周産期病態研究部室長)

6. 日 時: 令和2年12月4日(金) Teams によるオンライン開催
演 者: 内田 直也先生
東京大学医科学研究所、遺伝子・細胞治療センター、分子遺伝医学分野
演 題: 鎌状赤血球貧血症に対する遺伝子治療の開発
紹介者: 内山 徹 (成育遺伝研究部室長)

研究所 研究発表会 2020

12月16日（水） 14:00-15:30

第一部（14:00-14:40）座長 上野瞳/宮本義孝

1. Psychological condition related to fear and anxiety among childhood cancer survivors: A report from the NCCHD Lifetime Cohort Study.

小林 しのぶ さん （社会医学研究部）

2. 産科麻酔導入直後の胎児心拍異常の予後とリスク因子に関する検討

山本 依志子 さん （政策科学研究部）

3. 妊娠中の母親のメンタルヘルスが生まれてくる子供のアレルギーに及ぼす影響

山本 貴和子 さん （エコチル調査研究部）

4. 近年ヒトで同定された男性ホルモンの生体内意義

吉田 朋子 さん （分子内分泌研究部）

第二部（14:50-15:30）座長 宮戸真美/森田英明

5. 笑顔あふれる食卓を目指して！ 鶏卵アレルギー予防食の開発研究

山田 絢子 さん （免疫アレルギー・感染研究部）

6. 5-ALA/SFC enhanced the antitumor effects of PD-L1 blockade via regulation of exhausted T cell metabolism in melanoma model

Hu Xin さん （RI管理室/移植免疫研究室）

7. プロジェクトY ～挑戦者たち～ Y染色体領域のゲノム編集

辻 敦美 さん （システム発生・再生医学研究部）

8. 遺伝子発現に関わる内在性レトロウイルス挿入の進化系統解析

進導 美幸 さん （実験動物管理室）

15:30 優秀演題賞選考（Teams 投票システム）

その場で優秀演題賞の発表/表彰を行います

Teams/セミナールーム
ハイブリッド開催

Teams投票システムを利用して、
優秀演題賞を2演題選出します。

あなたも審査員の一人に！